

第23回 神経筋診断セミナー

開催日: 2026年12月19日(土)・20日(日) 現地開催(帝京平成大学池袋キャンパス)

🏠 入門コース:神経筋診断の基礎を学ぶ(定員48名)

神経伝導検査や針筋電図などの、初学者にも理解しやすいレクチャーとハンズオンです。基礎的な理論から実際の臨床応用までを2日間で効率的に学べます。

① 1日目レクチャー・2日目ハンズオン, 1日目ハンズオン・2日目レクチャーの2組の入替制です。

● レクチャー

- 神経局所解剖/神経伝導検査
 - 末梢神経解剖と検査の基礎を学ぶ
- 波形解釈(NCS)
 - 神経伝導検査波形の解釈・検査時の判断について学ぶ
- 波形解釈(EMG)
 - 波形解釈の理論を学び動画をみて実践
- NCSが役立つcommon disease
 - 臨床応用を疾患の側面から学ぶ
- 医師を動かし患者を救う技師への道★
 - 技師が医師とどう関わり検査を臨床に反映するかを考える

● ハンズオン

- 神経伝導検査(上肢)
- 神経伝導検査(下肢)
- 反復神経刺激試験
- 針筋電図★
 - ★ 同時に実施され, どちらを受講するか選択可能です

📖 マイセレクトコース:自由にプログラムを選択(定員70名)

多彩なハンズオンやレクチャーから自由に選択することができ、自身の興味やスキルに合わせた学習が可能です。

👉 すべてのセッションを自由に選択可能。プログラムごとに定員があります。

● ハンズオン

- 上肢/下肢 uncommon NCS
- MUNE・F波
- 表面筋電図
- 針筋電図 (uncommon)
- 超音波検査
- 小径線維
- SFEMG (vol./stim.)
- Magnetic stimulation
- 体性感覚誘発電位
- ボツリヌス

● EDX seminar (workshop)

脳神経内科医と整形外科医など複数の立場の講師による症例提示やレクチャー, ライブデモなどを行うワークショップ形式で, 臨床テーマについて多面的な理解を深める

- 肩挙上困難
- 下垂足
- 下垂手・手内筋萎縮
- ALS
- 尺側しびれ
- 下肢近位筋力低下
- 超音波AI
- 機能性神経障害

● ラウンドテーブル (small group lecture)

- MMT
- ニューロパチー
- 臨床のためのME
- 神経筋接合部
- 脱髄性ニューロパチー
- 糖尿病性ニューロパチー
- 三叉神経・顔面神経
- 神経根症
- 問題症例の筋電図
- CuTS・CTS
- 跳躍伝導の生理学
- 末梢神経損傷(機能予後)

マイセレクトコースプログラム概要

(変更の可能性あり)

ハンズオン

EDXセミナー

ラウンドテーブル

	1限 9:00-10:20	2限 10:40-12:00	3限 13:00-14:20	4限 14:40-16:00
ハンズオン	■ 上肢uncommon NCS 外側・内側前腕皮神経などのNCSを自信をもって実施できるようにする ■ SFEMG 同心針電極による単線維針筋電図の検査手技とビットフォールを学ぶ ■ 針筋電図 (uncommon) やや難しい被検筋毎のビットフォールや特徴を学ぶ ■ 表面筋電図 不随意運動の客観的評価の理論と実践を学ぶ	■ 下肢uncommon NCS 伏在・浅腓骨・足底神経などのNCSを自信をもって実施できるようにする ■ 小径線維 小径線維の検査と評価法を学ぶ ■ 超音波検査 主な末梢神経・筋を超音波で同定するポイントと代表的疾患の特徴的な異常所見について学ぶ	■ 下肢uncommon NCS 伏在・浅腓骨・足底神経などのNCSを自信をもって実施できるようにする ■ 磁気刺激 原理・適応を学び、実際の検査方法と結果の解釈について学ぶ ■ ボツリヌス 上下肢痙縮のボツリヌス治療で頻用される主要な標的筋について、超音波を用いた確実な同定手技について学ぶ	■ 上肢uncommon NCS 外側・内側前腕皮神経などのNCSを自信をもって実施できるようにする ■ 針筋電図 (uncommon) やや難しい被検筋毎のビットフォールや特徴を学ぶ ■ 体性感覚誘発電位 体性感覚誘発電位の検査手技とビットフォールを学ぶ ■ MUNE・F波・H波 運動単位数推定・F波・H波の原理と検査手技、臨床応用について学ぶ
EDXセミナー	■ 肩挙上困難 「腕が上がらない」という訴えへのアプローチについて、脳神経内科・整形外科それぞれの視点から学ぶ ■ 尺側しびれ 脳神経内科・整形外科それぞれの視点から遭遇頻度の高い主訴に対するアプローチの仕方を学ぶ	■ 下垂足 遭遇する頻度の高い「下垂足」の臨床像を知り、生理検査により診断していくプロセスと鑑別診断について学ぶ ■ 下肢近位筋力低下 「下肢近位筋力低下」という訴えに対するアプローチについて、脳神経内科・リハビリテーション科それぞれの視点から学ぶ	■ 下垂手・手内筋萎縮 「手首や指が上がらない」という訴えに対する脳神経内科・整形外科の立場からの鑑別と診断のための検査の進め方について学ぶ ■ 超音波AI 筋電図や神経筋超音波データを用いたAI(人工知能)解析について理解する	■ 機能的神経障害 機能的神経障害(ヒステリー)へのアプローチについて学ぶ ■ ALS ALSの診断における針筋電図・神経筋超音波検査の果たす役割、また検査の計画や結果の解釈、アプローチについて理解を深める
ラウンドテーブル	■ 糖尿病性ニューロパチー 患者の生命予後に及ぼすインパクトと、伝導検査による客観的重症度診断の手順について考える ■ 跳躍伝導の生理学 跳躍伝導の生理学について学ぶ ■ 神経筋接合部 神経筋接合部の生理についての基礎知識と、検査異常の解釈について学ぶ	■ 問題症例の筋電図 講師が経験した症例を元に、検査の計画・解釈から治療へのプロセスを追体験する ■ MMT MMTの正しいとり方と解釈について学ぶ ■ ニューロパチー ニューロパチーの実践的な鑑別診断について学ぶ	■ 三叉神経・顔面神経 三叉神経・顔面神経の臨床電気生理学について学ぶ ■ 臨床のためのME 神経伝導検査や針筋電図に関係した、臨床に役立つMEについて学ぶ ■ 脱髄性ニューロパチー 脱髄性ニューロパチーの病態と生理について学ぶ	■ CuTS・CTS 肘部管症候群、手根管症候群などの絞扼性神経障害の臨床像と神経伝導および超音波検査の方法や解釈につき学ぶ ■ 神経根症 神経根症の診断と評価について学ぶ ■ 末梢神経損傷 (機能予後) 末梢神経損傷について、超音波検査や神経伝導検査・針筋電図検査を用いる診断・予後予測について学ぶ

本セミナーの特徴

臨床に直結する神経筋診断技術

本セミナーでは神経筋疾患の診断における基礎理論から最新技術まで、実践的な知識と技術を体系的に学ぶことができます。

個々の検査技術を学ぶだけでなく、患者に対し、どう検査前評価をし、検査プランを立て、実践し、結果を解釈し、依頼医に伝え、神経筋疾患の診断・評価・治療に活かしていくための総合的なスキルを習得できます。

習得できる検査技術と知識

神経伝導検査

- 定型的・非定型的神経伝導検査手技
- 波形解釈の理論と実践
- 異常波形の鑑別診断への応用
- MUNE等の特殊検査

針筋電図

- 安静時電位の記録・解釈
- 随意収縮時の評価
- 難易度の高い被検筋の穿刺法
- 単線維針筋電図の臨床応用

一流の講師陣と多様な受講者に対応した学習環境

国内トップレベルの神経筋診断の専門家(医師・臨床検査技師)による直接指導と、少人数制のハンズオンにより効率的に身に着けたい技術が習得できます。

講師陣は神経筋診断の国内有数のスペシャリスト。

質問しやすいオープンスペースでエキスパートに直接指導を受けることができます。

神

神経内科医
神経筋疾患の鑑別診断に

整

整形外科医
絞扼性障害・脊椎脊髓疾患・超音波

リ

リハビリテーション科医
機能評価と予後予測、ゴール設定に

初

初学者
基本を最速で習得、明日から即戦力

神経筋診断の理論と技術を学べる学会公式の国内最大級のセミナー

- 少人数制のハンズオンによる手技の確実な習得
- 疑問点をその場で解決できる双方向コミュニケーション
- 日本臨床神経生理学会認定医・認定技術者をを目指す方に最適(認定点数12点取得可能)
- 非会員も受講可能 現地で入会も可能

